

東能勢中学校だより

～一人ひとりを大切にした 一人ひとりが輝ける学校～
令和3年（2021年） 3月号

世界中が新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。ワクチン接種が始まったものの、まだまだ見通しが立たない状況です。“With CORONA”や“新生活様式”が日常的になりつつある中で、三密回避のためにもデジタルメディアはなくてはならないものとなってきました。文部科学省のGIGAスクール構想で学校でも一人一台のタブレット端末を使用して授業することが導入されてきています。

一方でデジタルメディアに支配されない生き方も求められているように思います。「スマホが脳を乗っ取る!？」そんな見出しの記事がありました。脳科学に関する世界中の研究結果をもとに、デジタルメディアの悪影響を告発する本「スマホ脳」の著者アンデシュ・ハンセン氏（スウェーデンの精神科医）のことはでした。「スマホをポケットに入れておくだけで学習効果は著しく下がる」「依存性の高いスマホは最新のドラッグ」と警鐘を鳴らしています。精神科医として不眠症の患者を治療した際に、スマホをベッドまで持ち込まず目覚まし時計で起きるように助言したら症状が改善したともありました。

インターネット環境の変化やデジタルメディアの進歩は否めません。実際に便利で生活を豊かにするツールでもあります。このコロナ禍においてはリモートやオンラインがいかにも役に立ったことか。それぞれに長所短所があるデジタルとアナログ。要はリスクへの対策を前提に上手に使い分けることが大切でしょう。

内閣府では、SNSなどに起因する子どもの犯罪被害防止のために保護者向けに以下の啓発をしています。ぜひ一度、ご覧いただきご家庭でのルールづくりにお役立てください。（QRコード📄）

「青少年のインターネット利用に架かる保護者向け普及啓発リーフレット」
https://www8.cao.go.jp/youth/kankyuu/internet_use/leaflet.html



リーフレット掲載ページ QRコード

卒業生の活躍

美術の時間にゲストティーチャーとして全校生徒に染色の面白さを教えてくれた卒業生の大西香菜子さんが体育祭に飾った「とよのぼり」について冊子にまとめられました。オールカラーで豊能町東地区の素敵なお写真満載！
図書室に寄贈してくれました。



《先月の主な様子》

○1月29日(金) 2年 SDGs調べ学習報告会
(先月号でお知らせできなかった分です)



1, 2年生の総合的な学習の時間で今年度は持続可能な開発目標（SDGs）について取り組んでいます。講話やワークショップ、調べ学習を終えた2年では一人ひとり自分の選んだ目標に関して冊子にまとめ、自分ができる「行動宣言」を発表する報告会をしました。



○1(月)共同研究 授業研究(指導案練り上げ)

今月19日に予定している大教大との共同研究事業に係るまとめの授業研究会に向けて研究チームを中心に研修会を行いました。大教大からは佐久間准教授と研究員の方2名、東能勢小学校からも3名も参加してくださり、「勉強が苦手な子も顔を上げる授業の導入」「生徒が主役になる授業づくり」など授業の組み立てについて考え意見を出し合いました。



○4(木) 新入生保護者説明会

来年度入学生の保護者の皆さんを対象に説明会を行いました。学校概要、生徒会やクラブ活動、中学校生活でのきまり、事務手続き等スライドや冊子をもとにお話ししました。小学校と比べいろいろ制約がある中学校で、全員が快適で安全に過ごすためにはルールやマナーも身に付けていくことの大切さもお伝えしました。

○18(木) 第2回学校協議会



今年度の取組を振り返り、生徒、保護者の皆さんにお願いした学校教育自己診断のアンケート等を集計して分析したものを報告書にまとめました。それをもとに、学校協議会委員の皆さんに、いろいろな角度からご意見、ご助言をいただく協議会を開催いたしました。今後、学校運営の改善に活かせるよう提言をふくめた学校関係者評価をしていただき、今月4日の小中合同学校協議会にて総括いたします。評価報告書、アンケート結果につきましては、後日、紙面とHPでお知らせいたします。

掲示板紹介 養護教諭は健康教育、栄養士は食育の視点から興味深い情報を発信しています

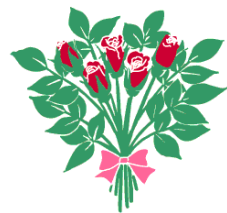
新型コロナウイルスと共に過ごした今年を振り返ります



節分にちなんだ色々な豆の紹介
カードをめくれば名前がわかる

《3月および今後の主な予定》

- 1日(月) 公立高校特別選抜合格者発表
 - 4日(木) 公立高校一般選抜出願 *第3回 学校協議会(小中合同)
 - 10日(水) 公立高校一般選抜
 - 12日(金) 3年卒業宣言5, 6限 (3年学年だよりでお知らせしています)
 - 16日(火) 第74回卒業証書授与式 [卒業生・家庭2名まで・教職員のみで挙行]
 - 17日~18日 ミニ懇談会(45分×5限)
 - 18日(木) 公立高校一般選抜合格者発表
 - 19日(金) 朝読書最終 (~24日 50分×5限)
*大教大との共同研究に係る公開授業研究会
 - 23日(火) 生徒会役員選挙
 - 24日(水) 給食最終日
 - 26日(金) 修了式・認証交代式 春季休業開始 ~
- ※ 令和3(2021)年度 入学式 4月7日(水) 始業式 4月8日(木)



~ことばのちから~

♪ We Shall Overcome (勝利を我らに(私たちは乗り越えられる)) ♪
from 讚美歌・ゴスペル by Pete Seeger

We shall overcome (私たちはみんなできっと乗り越えられる)
We shall overcome (私たちはきっと乗り越えられる)
We shall overcome someday (いつかきっと乗り越えられるんだ)

Oh, deep in my heart (心の底から)
I do believe (私は信じている)
We shall overcome someday (いつかきっと私たちは乗り越えられるんだ)
...



*2番以降は下線部が次のようになります

- 2 We'll walk hand in hand /someday (手と手を携えていくんだ)
- 3 We shall live in peace /someday (平和に暮らしていくんだ)
- 4 We are not afraid /today (私たちは恐れないんだ)
- 5 We are not alone /today (私たちは一人じゃないんだ)
- 6 The whole wide world around/someday (世界が一つになるんだ)



もともと、讚美歌やゴスペルソング由来だったものをアメリカのシンガーソングライターのビート・シーガーが歌詞をアレンジして全米に伝え、プロテストソングとして広く歌われるようになりました。公民権運動のリーダー、キング牧師もスピーチの中で歌を引用しています。原曲はWe will overcome だったのをビートは「意志」を表すwillを「必然」を表すshallに変えてovercomeを「きっと乗り越える」という気持ちを表しました。たった1語でも伝わるメッセージは大きく変わってきます。まさにことばの力です。

コロナ禍にある今だからこそ、世界中で手を取り合って歌いたい曲です。

そして、新しい道を歩き出す卒業生のみなさんにも、この先、困難にぶち当たったときに思い出して欲しい曲です。

保護者のみなさま 地域のみなさま

世界中を震撼させた感染症の影響で、休校措置ではじまった今年度でした。中学に入学してきた1年生をはじめ、進級した2, 3年生もこれからどうなるのか不安な毎日だったと思います。それは学校も同じでした。しかし、小さい本校の利点を最大限生かして、いち早く授業再開が軌道に乗り、行事も工夫して行うことができました。これはひとえに保護者のみなさまのご理解とご協力、地域の方々のご支援のおかげと感謝しております。今後の状況はまだまだ見えません。また、小中一貫校再編も間近に迫っています。何卒、来年度も温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。 東能勢中学校 校長 小田恵美子